

東日本大震災 被災高校生
支援・募金のお願い



つなごう
ONE COINで
心の輪を!

東日本の大震災から1年が過ぎました。現在では被災地の復興のため、国や自治体を始めとして企業、団体、NPO、個人がさまざまな支援を続けています。しかし今でも震災で親を亡くした子供たちが支援を必要としています。

その中で2760地区と2520地区のガバナーの話し合いの中で高校生に対する経済(One Coin)と心(一通の便り)の支援を始めることになりました。この事業は二つの地区のロータリアンとロータリー活動の理解者の協力、被災高校生を支える学校関係者(自治体関係者)、地域の人々との協力によって進められます。高校生支援事業を2760地区は千田ガバナーが中心となり、ガバナー補佐の協力、地区被災高校生委員会が事務局となり、3年間継続する体制で事業を進めます。

2760地区のロータリアンの皆様、この事業の趣旨をご理解いただくとともに、ご協力をお願いいたします。



国際ロータリー 第2760地区

基本理念

- 東日本大震災被災者に対し、目に見える支援活動の一環として、次世代を担う子供たちの為に奨学金制度を創設する。
- 奨学金授与者と奨学金受給者との間でお互いの理解のもと相互交流を図る。
- RI 第2520地区(宮城・岩手県)より推薦された平成25年4月高等学校入学の生徒30名に対し3年間奨学金を支給する。(毎月3万円)
- RI 第2520地区(宮城・岩手県)より推薦されたRC、ロータリアンによって奨学金受給者に毎月支給する。
- 奨学金授与者は、RI 第2760地区のロータリアン及び家族、寄付賛同者をもって構成する。
- 奨学金授与者は、毎月ワンコイン(500円)1口以上を奨学資金として拠出し、寄付申込書をもって3年間(2013年4月～2016年3月)継続する。
- 奨学金授与者は、60名・口をもって1チームを編成し、チームリーダーを指名し、チームリーダーは30,000円・月当たりを地区被災高校生支援委員会に寄託する。地区被災高校生支援委員会はRI第2520地区に寄託する。

プロジェクト要項

奨学金受給対象者

2013年4月に高校1年生になる生徒で大震災を起因として経済的に困窮している生徒。RI 第2520地区(宮城・岩手県)より選考された生徒。交流事業に参加する事に同意した生徒。

人数

30名

奨学金支給期間

2013年4月～2016年3月

奨学金金額

1生徒あたり毎月30,000円 3年間総額108万円
当プロジェクト総額 3,240万円

支給方法

RI第2520地区(宮城・岩手県)より選考されたRC、ロータリアンを經由して生徒に支給する。*奨学金の返還請求は行わない

支援者及び金額

RI 第2760地区ロータリアン会員及び家族、寄付賛同者。
1人・口あたり毎月500円 3年間総額18,000円/口
募集人員(口) 1,800人(口)

*1人複数名分可 *支援金の返還は行わない。 *高校を退学した場合は支給を停止する。

奨学金の取りまとめと流れ

RI 第2760地区のRC単位でまとめ(3年分一括または6ヶ月単位程度)、地区被災高校生委員会口座に送金する。RI 第2760地区被災高校生支援委員会からRI 第2520地区担当RCの窓口の口座に6ヶ月単位で送金する。RI 第2520地区担当RC、ロータリアンから高校生に毎月、奨学金30,000円を授与する。(奨学金の授与方法についてはRI 第2520地区と打ち合わせ、詳細を決定する。)

交流事業

RI 第2520地区と詳細を打ち合わせ決定する。(支援ロータリアンと受援高校生が顔の見える交流ができる内容にする。)
支援RCと受援高校生の組み合わせは被災高校生委員会でRI 第2520地区を打ち合わせ、決定する。

